

特別展

# もう一人のミギシコウタロウと節子と黄



三岸黄太郎(菜の花が咲くころ) 2002年

三岸黄太郎(みぎしこうたろう・1930～2009)は、洋画家として著名な三岸好太郎(みぎしこうたろう)・節子夫妻の長男。彼もまた、高校時代より油絵をはじめています。1953年に銀座・兜屋画廊で個展を開催。以後フランスと日本を往来し、父母の感性を受け継ぎながらも自己の道を黙々と歩んで、シンプルな構成と繊細なマチエールで独創的な世界を打ち立てました。

とりわけ母・節子とともに暮らした北フランスの風土から生み出された数々の風景画は、染み入るような詩情をたたえています。その寡黙にしてどこか唐突な感じは、夢のようでもあり、またほのぼのとしたユーモアや生活感をも含んで、観る者を惹きつけて止みません。

本展では、三岸黄太郎長男の三岸太郎氏の協力を得、三岸黄太郎の秀作を好太郎、節子の作品とともに紹介し、共通の資質や、この画家ならではの個性をさぐります。



三岸黄太郎(家) 2001年



三岸黄太郎(静物) 1965年



三岸黄太郎(雷が落ちた) 1994年  
\*後期出品



三岸黄太郎(夜の散歩道)1980年

2012年1月21日(土)～3月25日(日)

開館時間 9:30～17:00(入場は16:30まで) 休館日 月曜日  
観覧料 一般600(450)円、高・大生350(250)円、小・中生250(200)円  
( )内は前売および10名以上の団体料金。リピーター割引などもあります。

●美術講演会 「三人の三岸芸術」  
1月21日(土) 午後2時～ 展示室にて  
講師：三岸太郎氏(三岸黄太郎長男) \*要観覧料

主催 北海道立三岸好太郎美術館 共催/一宮市三岸節子記念美術館  
後援 札幌市・札幌市教育委員会、北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、  
読売新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、NHK札幌放送局、北海道放送、  
札幌テレビ放送、北海道テレビ、北海道文化放送、テレビ北海道、  
三角山放送局、三岸好太郎美術館後援会

三岸黄太郎作品 約50点	前期: 1月21日(土)
三岸好太郎作品 11点	～2月19日(日)
三岸節子作品 11点	後期: 2月21日(火)
を展示替えを行いながら 紹介します。	～3月25日(日)

- ギャラリー・ツアー(展示解説) 毎日午後1時～3時(所要時間約30分) \*祝日を除く  
解説:北海道美術館協会解説部ボランティア解説員 \*要観覧料
- オリジナル・スイーツ・デー 2月3日(金) 本展に関連した特製のお菓子を限定販売
- 土曜セミナー「フランスの風 絵画とフォーレの歌曲のひとつ」  
2月4日(土) 午後2時～ 約1時間 展示室にて \*要観覧料  
ソプラノ:水上夕規子 ピアノ:駒崎志保 お話:苔名直子(当館学芸員)
- ミニ・リサイタル 2月25日(土)、3月24日(土) いずれも午後2時～ 約1時間  
若手演奏家による音楽会。展示室にて \*要観覧料
- トウィンクル・コンサート 17日(土) 午後2時～ 約40分  
展示作品との響き合いが楽しめる小さな演奏会。展示室にて \*要観覧料  
直接会場にお越しください。詳細は011-644-8901まで。



三岸好太郎(アトリエの庭)1933年  
浜松市美術館蔵



三岸節子(ブルゴーニュにて)1989年  
一宮市三岸節子記念美術館蔵

北海道立  
三岸好太郎美術館

MIGISHI KOTARO MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

札幌市中央区北2条西15丁目  
(知事公館北側)

TEL: 011-644-8901

テレホンサービス: 011-621-7000

交通

●道立近代美術館から東へ徒歩5分 ●地下鉄東西線「西18丁目」駅 ④番出口から500m ●JRバス/中央バス(札幌←→小樽・手稲方面)「道立近代美術館」停留所から250m ●タクシーで札幌駅から約5～10分(「知事公館」の北側・北3条通)とご指示ください。)

駐車場 3台(無料) 道立近代美術館駐車場(北1西17)もご利用可。(有料・割引)

